

## 北海道大学病院に入院されたことのある患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] データマイニング手法を用いたオキシコドンによる悪心・嘔吐の発現割合推定モデルの構築

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 菅原 満 (薬剤部・部長)

### [研究の目的]

データマイニング手法の一つである Decision tree model は、企業におけるマーケティング等に活用されている予測・判別モデルです。近年、本手法の医療分野における応用可能性が注目されており、既に疾患の予後予測を行うためのモデルなどが構築されています。

本研究では、オピオイド性鎮痛薬であるオキシコドン徐放錠の代表的な副作用である悪心・嘔吐について、その発現リスクを推定するための Decision tree model を構築することを目的とします。また、構築したモデルの精度を評価し、臨床現場で使用可能か検証します。これらの取り組みにより、安全な緩和薬物療法を患者さんに提供することを目指します。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

2015年4月～2018年3月に当院においてオキシコドン徐放錠が投与された18歳以上の方を対象とします。

#### ○利用するカルテ情報

オキシコドン徐放錠の投与量、併用薬、年齢、性別、身体所見、検査結果、飲酒・喫煙習慣、診断名、オキシコドン徐放錠開始1週間以内の悪心・嘔吐の有無など

[研究実施期間] 実施許可日～2022年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院薬剤部 熊井 正貴

電話 011-706-5689 FAX 011-7060-7616